

登録コード	BSB82570	開講年度	2026			
授業題目	生命工学演習（22BS以降)				担当教員	阿部 誠
英文授業名	Seminar in Biotechnology				副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	生命工学分野2年生
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ					
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				ディジタル信号処理や生体のモデル化に関する知識を身に付けることで，問題に応じて信号処理やモデル化の手法を正しく選択できるようになる．	
(2)授業の概要	生体信号処理技術やモデル化の手法を理解する．さらに，受講者自身が主体的に問題点を調査し，その問題を解決するための能力を身に付ける．					
(3)授業計画	以下の分野に関する生体信号処理技術やモデル化の最新の話題に関する論文，書籍を取り上げ，論文の購読を行う．さらに，受講者自身が生体信号解析やモデル化を行いながら，それらの技術を理解するとともに，その内容についてプレゼンテーションをし，議論を行う．一つの項目につき，概ね2回にわたって講義を行う． 1．心電図の基礎と前処理 2．心電図の解析 3．不整脈の検出 4．血圧情報の解析 5．光電容積脈波の基礎 6．光電容積脈波の解析 7．自律神経活動の推定 8．生体信号解析の応用					
(4)成績評価の方法	受講者は定期的にプレゼンテーションを行う．それらの内容を総合的に評価して単位認定を行う．					
(5)成績評価の基準	独創的な内容をプレゼンテーションできる：「卓越している」 発展的な内容をプレゼンテーションできる：「かなり上にある」 詳細な内容をプレゼンテーションできる：「やや上にある」 最低限の内容をプレゼンテーションできる：「合格水準にある」					
(6)事前事後学習の内容	入念な準備をしてからプレゼンテーションに臨むこと．また，ディスカッションした内容は，次のプレゼンテーションに生かせるよう復習すること．					
(7)履修上の注意	特になし					
(8)質問,相談への対応	講義中が望ましいが，電子メールでの質問も随時受け付ける．					
(9)その他	特になし					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					